

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、次の3つの経営理念を経営の基本方針とし、事業活動を展開しております。

「顧客第一」

...顧客の満足度を高め、顧客に信頼される企業を目指します

「最高への挑戦」

...「最高の技術」「最高の品質」「最高の経営システム」を目指し、挑戦し続けます

「企業の価値を高め社会に幸福を」

...企業価値を高めることにより、株主、社員、取引先に成果を還元し、豊かな社会の創造に貢献します

(2) 利益配分に関する基本方針

当社は、企業競争力の一層の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を第一とし、その上で、財政状態、収益状況に対応した配当を行なってまいります。

(3) 投資単位の引下げに関する考え方及び方針等

当社は、個人投資家の投資拡大は株式市場の活性化に不可欠であり、投資単位の引下げがその誘因の一つであると認識しております。しかしながら、当社といたしましては、今後の株式市場及び株価に注目しつつ慎重に対処していくものであります。

(4) 会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、「事業規模の拡大」を中期事業計画の中核に据え、大規模生産拠点の建設により増大するプリント配線板需要に対応して収益力の強化を図るとともに、高密度プリント配線板の生産の増強により高機能化、高密度化への流れを取り込み、今後成長が期待される市場への積極的展開を図ってまいります。

プリント配線板部門につきましては、中国における当社二番目の工場である中国武漢工場(名幸電子(武漢)有限公司)を湖北省武漢市に建設し、7月より稼働を開始しましたが、これにより生産能力が大きく増強いたしました。当期は、本工場の早期立ち上げを目指します。さらに来期には中国武漢工場の第二ラインの着工も計画しており、これらの順調な立ち上げによる生産力拡充と収益の拡大に努めてまいります。また、販売拠点に関しましても、当中間期は販売会社として米国に、MEIKO ELECTRONICS AMERICA, INC.を設立し、さらに長野県と中国の天津に新しく営業所を設けて、販売力を強化いたしました。当社では、今後も世界各地へのネットワークを拡大してまいります。

電子機器部門につきましては、中国広州工場(名幸電子(広州南沙)有限公司)第二工場内に増設した部品実装ラインが好調に推移し、基板の設計から製造、検査、部品の実装にいたる一貫したサービスが強化されつつあります。今後はこの体制をさらに強化し、幅広いニーズにお応えできる生産体制を確立させてまいります。

このように、当社グループといたしましては、デジタル家電および自動車関連のグローバルな市場拡大が見込まれる中で、プリント配線板の生産・販売体制を増強し国内と海外との連携・相乗効果を活用して、生産・販売力の強化をおこなっております。

その一方、当期は主材料である銅をはじめとした各種原材料価格の大幅な高騰により、利益面に大きな圧迫を受けています。当社ではこれに対応して、コストアップ分を製品価格へ転嫁することに注力するとともに、不採算部門の改善、製造原価の低減等に取り組み、収益率改善に取り組むことで、事業の拡大とともに経営の安定化に取り組んでまいります。

(5) 親会社に関する事項

該当事項はありません。